

忘年山行 日光澤温泉 2021年12月6日～7日



2年振り、3回目の日光澤温泉で行う忘年山行で、東武鉄道鬼怒川温泉駅にやってきた。駅前で「鬼怒太」君が迎えてくれている。



駅前からジャンボタクシーに乗って、1時間05分。12時前に女夫漕駐車場に到着した。ここで昼食を摂って、歩き出す。



停まっているバスのすぐ前に上の女夫漕橋があり、渡り終わると10数メートル先に奥鬼怒遊歩道入口がある。鉄製の急な階段を何十段か何百段かジグザグに昇ることが、このコース一番の難所である。奥鬼怒遊歩道入口辺りは、標高1,120メートル。



階段を昇った分をくだると、鬼怒川に架かる吊橋「鬼怒の中將乙姫橋」があって、対岸へ渡る。



橋を渡ると鬼怒川の左岸を、八丁の湯まで緩い傾斜を上下しながら200メートル弱、標高を徐々に上げて行く。



この「二つ岩橋」で右岸に渡り、10メートルほどですぐ左岸に戻る「砥の岩橋」を渡ることになる。砥の岩橋を渡って振り返ると、くの字状に連なる二つの橋が見える。



冬枯れの河原の中の道を、快調に行く我がパーティーの足並み。愉快的笑顔。



日光澤温泉に着いた。ここからは、もう30歩か50歩か。さあ、酒とコップとタオルを持って、露天風呂へ直行だ。



白濁した温泉にとっぷり浸かって呑む酒は、格別だ。カメラのレンズが湯気で曇る。



下の露天風呂（白濁）
泉質＝含硫黄・ナトリウム・塩化物温泉



上の露天風呂（無色透明）
泉質＝ナトリウム・塩化物・炭酸水素塩泉



2年振りの席で、カメラは以後、休眠状態に。



朝、出発前に。変わらぬ宿の佇まい。他のメンバーは先発してしまった。



最後のこのきつい坂を越えれば、山旅は終わり。

参加者名 樋口 昭 山川昭男 星 富夫(L) 阪西 保(SL)
川村吾一 大島 實 成田 修 勝沼正敬